

時 一第(区元其糸之)大
に 4月28日、福生市商工
で 会館で行われた。
時 齋藤支部長は「剃刀

り、空き店舗の活用、朝
てして都の補助金を活用
ノード撤去事業など
り組み、マミーの再生、
に尽力している。

◇ 店の看板メニューは「若
ゆ揚げ」(100号19
。大山鶏と菜彩鶏の肉
川の老舗醤油店と関西の
醤油、高知のショウガを
ドして味付けし、コレ
ロールゼロの油で揚げる。
揚げを買いに、多くの固
ンが通う。

米の2番人気は「自家製
まコロッケ」(87円)。
豚と赤城豚を使い、脂身
して北海道ジャガイモと
カツオだしで味付けし
りたコロッケは「ソース
で食べられる」と評判だ。
10時〜午後7時30分、
休、羽村市富士見平2-1
0・40・7789

維持してきたことが知ら
れていない。美容業界
を守るためにも組織強
化が必須」とし、「美
容・エステティック業
界との競合など、経営
状況の厳しさは変わら
ない。さまざまな業界

起業家招き、記念研修会 多摩経営者クラブ

一般社団法人多摩経
営者クラブ(岡野哲史
代表)は4月15日、豊
島区東鴨で訪問美容事



「病気とともに転機が訪
れたことに感謝します」
と小池さん



「組合のデータベー
展開をサポートしたい」

業を立ち上げた小池由
貴子さん(豊島区東鴨)
を講師に迎え、コミュ
ニティービジネス(C
B)創業の話や聞く研
修会をあきる野ルピア
で開いた。

「笑顔あふれる毎日
をお届けする訪問美容
事業」と題した講演で
は、13年夏に「ソーシ
ヤルビジネスグラン
プリ」(社会起業大学主

催)を受賞した小池さ
んの事業立ち上げの奮
闘が語られた。

脱毛症の祖母の髪を
手入れした時の喜びが
原動力になって美容師
になった小池さんだっ
たが、多忙な中で仕事
は流れ作業となり、満
足にお客と会話すらし
ない日々が続いた。

小池さんは28歳で難
病にかかり、床に臥せ
ていた時、友人にわず
から5分の前髪を切って
もらっただけなのに、
心に変化が生まれたこ
とを実感した。病を乗
り越えた小池さんはそ
の後、「生きる喜びを
再生する訪問事業」と
して訪問美容とコミュ

「物産・逸品見本市」
を開催する。
昨年延べ5万2千
人が来場した同見本市
は都内各地の和洋菓
子、惣菜、ハムやチー
ズ、製麺などを即売。
昨年に引き続き東北地

「食に関する相談コ
ーナー」では同信金と
連携協定を締結してい
る大学や専門学校職員
が、商品開発や添加物

れるが、同社は80%と
他を圧倒する。
子育て中の母親がゆ
っくり過ごせる託児付
で、高齢者には車椅子
で入る美容室も開業
した。一方で、離職後
復帰率が低い美容師の
実態にも注目。熟練の
技術と介護知識を兼ね
備えた人材の養成も目
指している。

23区内の出張料を無
料にし、じっくり行う
カウンセリング、フッ
トケアやフェイシャル
エステまで多彩なメニ
ューを用意するなど工
夫。訪問美容の通常リ
ピート率は40%といわ

「いつか訪問美容が
スタンダードになり
『と和』の理念である、
お客さまと美容をつな
ぐ、和みの時間を過ご
していただく美容師が
西多摩にも生まれるよ
う頑張ります」と小池
さんは決意を込めた。

あつという間に 1日で快滴た

二連片眼 女性